

サーラグループ×豊橋ゆかりのスタートアップが共創
emCAMPUSにて「バーチャル避難訓練」を実施
～豊橋市消防本部の認可を取得し、先進技術を活用した次世代型防災プログラムの共創を推進～



バーチャル 避難訓練

—emCAMPUS版—

2026
4/24 金
10:00～11:00 (9:30開場)

会場 emCAMPUS EAST 5階 emCAMPUS STUDIO ROOM #01
愛知県豊橋市駅前大通二丁目81番地

株式会社サーラコーポレーション(本社:愛知県豊橋市、代表取締役社長:神野 吾郎 以下「当社」)は、2026年4月24日(金)午前10:00より愛知県豊橋市の複合施設「emCAMPUS(エムキャンパス)」において、次世代型防災モデルの社会実装に向けた「バーチャル避難訓練」を実施します。

本取り組みは、当社グループが運営するインキュベーション施設「emCAMPUS STUDIO」が共創のハブとなり、施設管理会社であるサーラ不動産株式会社、株式会社ジオクリエイツ(本社:東京都港区、代表取締役社長:本田 司)、および株式会社日建設計(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:大松 敦)との連携により実現しました。

訓練は、豊橋市消防本部の認可を受けた「法定消防訓練」として行われ、東海エリアの複合施設におけるバーチャル避難訓練では初*の試みとなります。

当日は訓練の様子を報道機関向けに公開いたします。ぜひご取材いただき、本取り組みを広くご紹介いただければ幸いです。

<バーチャル避難訓練 実施概要>

日時:2026年4月24日(金) 午前10:00～11:00(予定)

会場:emCAMPUS EAST 5階 emCAMPUS STUDIO ROOM #01

参加対象者:地権者、テナント入居者、ほか関係者

想定参加者数:60人(入居テナント20社より40人、ほか関係者20人)

スケジュール：

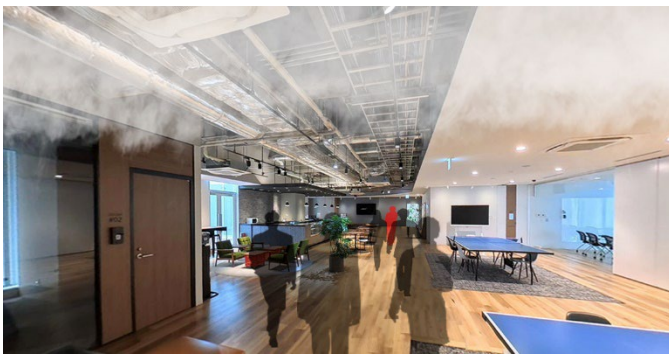
1. 訓練の概要説明 (10分)
2. 操作説明(PC、タブレット等) (10分)
3. 訓練開始 (30分)
4. 訓練フィードバック、質疑応答 (10分)

■背景と目的：地域の防災へのアプローチ

サーラグループは、現在推進している第6次中期経営計画において、基本方針「X(Cross)120」を掲げ、様々なステークホルダーとの「交差・連携・共創」による新たな価値創造による事業の創出に注力しています。近年、多様な人々が集まる複合施設における防災・減災対策の重要性が高まっています。一般的に、避難訓練は参加者を一か所に集めて実施する実地形式が主流ですが、実地形式では「実施可能な時間帯が限られ、全員が参加できない」「テナントの店舗運営、営業形態によっては参加しにくい」「訓練では防火扉が閉まらない等」、真にリアルな訓練ができないといった課題を抱えています。

本取り組みでは、地域の皆様へ新たな「安心・安全」の形を提供するために、スタートアップ企業の最先端テクノロジーと、当社の施設運営ノウハウ、および emCAMPUS STUDIO の共創ハブ機能を掛け合わせ、より多くの人が手軽かつ実践的に防災を学べる「バーチャル避難訓練」を実現し、防災課題の解決に貢献します。

また、近年、各消防機関においても VR 等を活用した次世代型の避難訓練の導入が検討される等、防災領域におけるバーチャル活用の流れが加速しています。本取り組みは、こうした社会的背景を受け、先進的な避難訓練のモデルケースとして豊橋市消防本部の認可を取得し、公式な訓練として実施するものです。



バーチャル避難訓練イメージ(5F 避難)



バーチャル避難訓練イメージ(図書館避難)

■バーチャル避難訓練とは

今回活用するシステムは、本プロジェクトに参画する株式会社ジオクリエイツと株式会社日建設計が共同開発した VR ツールであり、リモート環境における避難訓練を中心に、各種案内・誘導や検証にも活用できるサービスです。今回の導入にあたっては、emCAMPUS EAST の実際の建物データを活用して仮想空間内に施設を再現し、参加者は場所や人数の制約を受けることなく、多様な状況や立場を想定した避難行動を安全に疑似体験することが可能になります。

(参考 URL)<https://geocreates.net/virtualhinankunren-lp/>

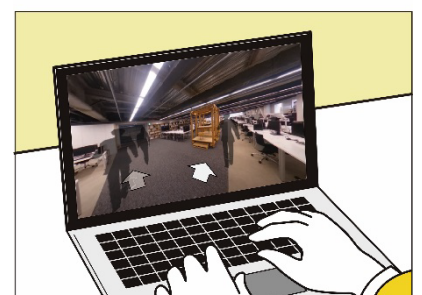
バーチャル 避難訓練

1. 効率的に実施できる

オンラインで参加するためいつでもどこでも避難訓練が実施できます。アバター表示させた他の参加者と一緒に臨場感を持って訓練を体験できます。

2. 様々な場面が体験できる

現地では即時実施が難しい様々なシチュエーション(時間帯、地震・火事等各種災害パターン)の訓練を短時間で複数体験することができます。



■技術の特長：行動データの蓄積・分析による施設運営へのフィードバック

本ツールのもう一つの大きな特長は、参加者の行動をデータ化できる点です。バーチャル空間内で参加者が「どこを見たか(視界)」「どのルートを移動したか(動線)」といった詳細な行動データを記録・分析することが可能です。

本取り組みでは、単なる避難訓練の実施にとどまらず、得られたデータをもとに既存の避難マニュアルの検証や見直しを行い、より安全で誰にでも分かりやすい施設運営や、今後の防災対策・建築設計のアップデートへとつなげていくことを目的としています。

■スタートアップとの共創・伴走支援：地域発のイノベーションが生むシナジー

本プロジェクトの技術面を牽引する株式会社ジオクリエイツは、東京を拠点とするスタートアップ企業でありながら、豊橋技術科学大学 OB が立ち上げた、東三河地域と非常に繋がりが深い企業です。

emCAMPUS STUDIO は、今回の共創を機に、新たに施設のワーキングスペース会員へ加わったジオクリエイツに対し、単なる活動拠点の提供にとどまらず、実証フィールドとなる emCAMPUS の管理会社(サーラ不動産)との「橋渡し」を始め、企画立案からプログラム構築に至るまでの調整役として深く関わり、プロジェクトの具現化に向けた「伴走支援」を行いました。

日建設計とジオクリエイツが有する最先端テクノロジー、豊橋との深い繋がり、そして emCAMPUS STUDIO のインキュベーション機能が交差することで、サーラグループと先進企業による理想的なオープンイノベーションの形が実現しました。



■今後の展望

今回の取り組みをモデルケースとして、本実証実験で得られた知見やデータをもとに、グループの事業所や様々な形態の関連施設に「バーチャル避難訓練」の横展開を検討してまいります。

また、今後も emCAMPUS STUDIO をハブとしたスタートアップ企業や先進企業との共創を積極的に推進します。防災領域に限らず、地域の課題解決や新しい価値の創造に向けたオープンイノベーションを加速させ、豊橋から全国に発信できるような先進的な事例を創出します。

■メディア取材のご案内

バーチャル避難訓練を4月24日(金) 午前10:00から実施いたします。当日は、訓練の様子や、参加者のリアルな反応をご取材いただけます。報道関係者の皆様におかれましては、ぜひご取材賜りますようお願い申し上げます。

取材をご希望のメディア関係者様は、末尾の<本件に関するお問い合わせ先>まで事前にお知らせください。

■会社・組織概要



サーラグループ

株式会社サーラコーポレーション(本社:愛知県豊橋市、代表取締役社長:神野 吾郎)を
持株会社に、暮らしとビジネスを支える様々な事業を展開する 48 社からなる企業グ

ループです。愛知県東部と静岡県西部をコアエリアとして、ガス・電力を中心としたエネルギー供給、ハウジング、インフラ整備、輸入車販売等の総合生活関連事業および都市基盤整備事業を手掛けています。“生活空間をより美しく快適に”という基本理念のもと、お客さまのニーズに合わせた商品・サービスの提供を通じて、豊かな社会の実現に貢献します。

[ウェブサイト] <https://www.sala.jp/ja/index.html>

emCAMPUS STUDIO

株式会社サーラコーポレーションが運営するインキュベーション施設です。新しい価値を共に創り上げていくことを意味する「共創」をコンセプトに掲げ、「まなびプログラム」「チャレンジ支援」「貸会議室」「ワーキングスペース」の4つの主なサービスを展開しています。東三河の豊かな未来の実現のため、この地域の元気な暮らしにつながる事業創造の支援に取り組んでいます。

[ウェブサイト] <https://www.em-campus.jp/studio/>

サーラ不動産株式会社

サーラ不動産株式会社は、愛知・静岡エリアを拠点とする総合不動産会社です。2025年の創立60周年を機に、従来の「仲介」「管理」に「投資」「まちづくり」を加えた4事業を柱に据え、2030年ビジョンの実現に向け投資事業を加速させています。

再開発拠点「emCAMPUS」を通じた地域活性化、事業を通じた社会課題の解決と、唯一無二の魅力ある街づくりに貢献し続けます。

[ウェブサイト] <https://sre.sala.jp/>

株式会社ジオクリエイツ

「すべての人に最高の空間体験を！」をビジョンに掲げ、空間体験価値を定量化する空間アナリティクスツール「ToPolog(トポログ)」を展開しています。国内外の様々なインテリアや建築や都市のプログラムでの関与実績から、設計者・事業主・エンドユーザー間の課題を捉え、設計段階や設計前後の現地のVRでの視線や脳波を測定・推定でデータベース化・AI化して、不動産・防災・小売等の市場を横断して、空間デザインの民主化を実現します。株式会社日建設計と共同開発の「バーチャル避難訓練」開発・運営も担当しています。

[ウェブサイト] <https://geocreates.net/>

株式会社日建設計

日建設計は、建築・土木の設計監理、都市デザインおよびこれらに関連する調査・企画・コンサルティング業務を行うプロフェッショナル・サービス・ファームです。1900年の創業以来、社会の要請とクライアントの皆様の様々なご要望にお応えすべく、顕在的・潜在的な社会課題に対して解決を図る「社会環境デザイン」を通じた価値創造に取り組んでいます。

[ウェブサイト] <https://www.nikken.co.jp/ja/>

STUDIO
emCAMPUS

sala
サーラ不動産株式会社

Geocreates
Architectural Experience Design

NIKKEN
EXPERIENCE, INTEGRATED

※「東海エリアの複合施設におけるバーチャル避難訓練の導入として初」の表記について：

2026年4月、株式会社ジオクリエイツ調べ。主要なプレスリリース配信サービスおよびニュース検索エンジンを用いた自社調査に基づく。

<本件に関するお問い合わせ先>

emCAMPUS STUDIO

住所：愛知県豊橋市駅前大通二丁目 81 emCAMPUS EAST 5F

TEL：0532-57-5016 Mail：studio@em-campus.jp